

6、単元指導計画（全8時間）

時	ねらい	学習活動	評価規準	指導・援助
1	具体的な操作活動を通して、等分除の意味を理解し、除法の式で表すことができる。	いちごが、12こあります。3人で同じ数ずつ分けると、1人分は何こになるでしょう。  おはじきを使い、1人分の数が何こになるか説明しよう。 ・おはじきを用いて操作し、1人分の個数を求める。 12 ÷ 3 = 4 と書いて、「12わる3は4」と読む。 12 ÷ 3 = 4 (全部の数) (人数) (1人分の数)	〈表現・処理〉 等分除の場合、除法が用いられる場合を式で表したり、式を読んだりすることができる。 〈知識・理解〉 等分したときの1つ分の数を求めるときは、除法の式に表せばよいことがわかる。	・おはじき操作を通して、等分除の意味を理解させる。 ・3人で同じ数ずつ分けると、1人分は、4個になることを式で表すことをおさえる。
2	等分除の場面では、答えは乗法九九を用いて求められることを理解し、除法の計算ができる。	18このあめがあります。6人で同じ数ずつ分けると、1人分は何こになるでしょう。  18 ÷ 6の答えを見つける方法を考えよう。 ・おはじきを用いて操作をする。かけ算で答えが求められないか考える。 □ × 6 = 18の□は6の段の九九で見つけられる。	〈数学的な考え方〉 整数の除法の計算の意味や方法について、整数の乗法の計算をもとにして考えることができる。 〈表現・処理〉 九九を用いて等分除の答えを求めることができる。	・18 ÷ 6の答えは、□ × 6 = 18で、□の中に、1, 2, 3と入れながら求められることをおはじき操作と関連付けながら丁寧に扱う。
3	具体的な操作活動を通して、包含除の意味を理解し、包含除の場面でも除法が用いられることがわかる。	12このいちごがあります。1人に3こずつ分けると、何人に分けられるでしょう。  おはじきを使い、何人に分けられるか説明しよう。 ・おはじきを用いて操作し、1人分の個数を求める。 「12こを1人に3こずつ分けると4人に分けられる。」場合も12 ÷ 3 = 4と表される。12を「わられる数」3を「わる数」	〈表現・処理〉 包含除の場合、除法が用いられる場合を式で表したり、式を読んだりすることができる。 〈知識・理解〉 同じ数ずつ分けたときのいくつ分を求めるときは、除法の式に表せばよいことがわかる。	・おはじき操作を通して、包含除の意味が理解できるようにする。 ・3個ずつ4人に分けられることを式で表すことをおさえる。
4 本時	包含除の場面でも、答えは乗法九九を用いて求められることを理解し、除法の計算ができる。	クッキーが20こあります。1人に4こずつ分けると、何人に分けられるでしょう。  20 ÷ 4の答えを見つける方法を考えよう。  4 × □ = 20で、4の段の九九で考えると答えが求められる。	〈数学的な考え方〉 整数の除法の計算の意味や方法について、整数の乗法の計算をもとにして考えることができる。 〈表現・処理〉 九九を用いて包含除の答えを求めることができる。	・20 ÷ 4の答えは、4 × □ = 20で、□の中に、1, 2, 3と入れながら求められることをおはじき操作と関連付けながら丁寧に扱う。

5	<p>具体的な場面の考察を通して、等分除と包含除は式の形から統合できることを理解する。</p>	<p>6 ÷ 2 = 3 の式になるお話を下のようにつくりました。2つのお話をくらべましょう。</p> <p>2つのお話で、同じところと違うところを</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>6 ÷ 2 = 3 の式について、同じ点と違う点について話し合う。</li> </ul> <p>わり算の式は、同じになる。</p>	<p>〈数学的な考え方〉 等分除と包含除を除法として統合的にとらえることができる。</p> <p>〈知識・理解〉 等分除と包含除は、同じ式になり、わる数の九九で答えが求められることがわかる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>おはじきを使って操作させることによって、相違点に気づかせる。</li> <li>話し合いの場面では、どちらも同じわり算の式になること、その意味を理解させる。</li> </ul>
6	<p>0 でわったり、1 でわったりする計算の仕方を理解し、正しく計算することができる。</p>	<p>箱に入っているケーキを、それぞれ3人で同じ数ずつ分けます。1人分は何ことになるか調べましょう。</p> <p>ケーキが6こ、3こ、0こ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ケーキが6こ、3こ、0この式と答えについて考える。</li> </ul> <p>0 ÷ 3 = 0 一人分は、0こ</p> <p>6このたまごを、1人に1こずつ分けると、何人分けられるでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>何人に分けられるか考える。</li> </ul> <p>6 ÷ 1 = 6 6人分</p>	<p>〈数学的な考え方〉 具体的な場面で、被除数が0の場合や除数が1の場合などを、既習の除法と同じように考えて立式する。</p> <p>〈知識・理解〉 被除数が0の場合と除数が1の場合の除法の意味を理解し、計算することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>図を使って式や商を考えさせる。</li> <li>「2 ÷ 2 = 2」「0 ÷ 3 = 3」「2 ÷ 1 = 1」等の誤答が予測される。意味に即して考えさせたり、既習内容と関わらせたりして考えさせる。</li> </ul>
7	<p>除法の計算、等分除の文章題、等分除・包含除の統合の文章題の習熟をはかる。</p>	<p>教科書 P.56 の問題に取り組む。</p>	<p>〈表現・処理〉 除数と商が共に1位数の除法の計算（余りなし）が確実にでき、それを用いることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>除数の段の九九で答えを求めればよいことや、被除数が0の場合は意味に基づいて求めればよいことを助言する。</li> </ul>
8	<p>本単元の学習の定着を確認する。</p>			